

市民団体と共同で 慰安婦調査実施を

【ソウル24日 韓国の新駐日大使・孔魯明・新駐日大使は二十三日、日本人記者と会見した。従軍慰安婦問題解決に向け、日本政府が予定している被害者からの現地聞き取り調査に、市民団体「韓国挺身隊問題対策協議会」が反対している問題について「日本政府が、官民の共同調査の形で行えば受け入れられる

のではないかと提言した。

孔大使は「最近、市民団体のメンバーに会ったが、日本政府が調査の際、客観的な立場をとるかどうかが、と懐疑的だった。日本側の対処の仕方に不信感や感情のもつれもあるようだ。日本政府が、日本国内にあるこの問題の支援団体、支援メンバーと共同で行うなら調査を受けてもいい、との反応だった」と指摘し「日本の調査実施は一歩前進と評価している。最後のところで間違いないように、と切に願っている」と期待した。